

Ⅱ 文学をひも解く～北条常久特別企画～ (定員120名)

会場：秋田県生涯学習センター

有名作家とその著作をひも解くことにより、より深い文学の世界へと誘う講座です。

日	時	テーマ	講師
J1	4/27 (土)	魯迅「故郷」と日本 ～仙台、上海、秋田～	秋田県生涯学習センター シニアコーディネーター 北条 常久
J2	8/17 (土)	小泉八雲「怪談」と日本人 ～ギリシャ・イギリス・アメリカ・日本～	
J3	11/9 (土)	小牧近江「種蒔く人」とフランス ～フランス・藤田嗣治・土崎～	

県生涯学習センター北条常久シニアコーディネーターが、有名作家とその著作をひも解くことにより、より深い文学の世界へと誘う講座です。3回シリーズで開催し、のべ265名が受講しました。

Ⅱ-1 4月27日(土) 魯迅「故郷」と日本 ～仙台、上海、秋田～

この講座は、今年度のあきたスマートカレッジ講座の一番最初の講座となりました。オープニングに相応しく、100名近くの受講者と北条先生の鋭い語り口で、会場は熱気にあふれました。

魯迅の「故郷」は中学校の教科書に掲載されており、子どもの頃に読んだという人もたくさんいました。資料として光村図書の抜き刷りが配付された時には、懐かしいという声も聞かれました。外国人でありながら、国民文学的扱いを受けている魯迅の生涯と作品を、北条SCがたくさんの資料をもとに読み解きました。参加者は、魯迅の文学への道は日本で決意されたこと、鎌田政国という秋田県出身の魯迅翻訳者がいたことなどを知り、驚いていました。ゲストによる作品の朗読や中国語の解説もあり、充実した講座となりました。



Ⅱ-2 8月17日(土) 小泉八雲「怪談」と日本人 ～ギリシャ・イギリス・アメリカ・日本～



2回目は、小泉八雲の「怪談」をテーマにした講座です。小泉八雲は、明治初期の急激に西洋化した日本文化の中に、古き日本の良さを発見しました。北条SCは、外国人の小泉八雲がどのように日本を理解していったかを、その生い立ちや支えた人たちとともに読み解きました。講座の途中には、会場を真っ暗にして、「耳なし芳一のはなし」を番場政司さんに朗読してもらい、耳なし芳一の気持ちになって作品に触れました。

参加者からは、「番場さんの見事な朗読で耳なし芳一の世界に引き込まれました。」「ラフカディオ・ハーンの足跡、大変興味深く拝聴しました」などの意見が寄せられ、北条SCの解説と朗読が一体となった講座に満足したようでした。

Ⅱ-3 11月9日(土) 小牧近江「種蒔く人」とフランス ～フランス・藤田嗣治・土崎～

3回目は、小牧近江の「種蒔く人」をテーマとした講座です。土崎港出身の少年小牧近江が、大都パリで平和主義者に成長する人間関係と時代を迫りました。北条SCは、小牧近江の著作もあることから、たくさんの貴重な資料・写真をもとに、時代背景とともに解説してくださいました。

フランス時代の話もたくさんあることから、愛知淑徳大学の杉渕洋一先生にもお手伝いいただき、小牧近江がフランスから出した手紙のフランス語の部分を読んでいただいたり、フランスの様子についてお話していただいたりしました。

参加者からは、「小牧近江という人の事を詳しく知ることができ、良かったです。明治時代にフランスに渡り、活躍した秋田県人がいた事を誇りに思います」などの意見が寄せられました。

